

2015. 7. 27

名古屋市緑政土木局局长 黒川和博様
同緑地部緑地事業課課長 石黒昭充様

水・森・いのちを守るラブリーアース Japan
事務局 古川善嗣
名古屋市南区豊 4-22-10
tell/fax 052-821-6463
<http://lovelyearth.info/>

相生山緑地「オアシスの森づくり」への意見書

1. 自然環境を対象とする取り組みは、事実に基づいた科学的な計画とその結果確認を繰り返しての実践が求められますが、実際はそうではないように思われます。
資料「オアシスの森の『アカマツ林再生プロジェクト』について」の考察を添付します。
プロジェクトの検証と、今後の実施について再検討することを提案します。
2. 同様の検証は、相生山緑地全域の都市公園事業化においても必要不可欠です。
基本計画策定においても、誠実な検証を積み重ねられるように望みます。

私たちは2009年12月から「相生山の四季を歩く会」を主催、運営してきました。自然を観察し、人と森のかかわりを学び続けています。そのなかで「オアシスの森づくり」事業の一部に、誤った認識で施業方針が立てられ、実施されているものがあるのではないかと思いますようになりました。

河村市長のもと「世界のAIOIYAMAプロジェクト検討会議」が発足し、都市計画変更にむけた「公園案基本計画」の策定作業がすすんでいることと推察します。この機会に、これまで相生山緑地ですすめられてきた施策の検証を行い、正しい事実認識による、未来に悔いを残さない立案を願うものです。

また、「てんぱく未来アSEMBリー（8月5-6日）」など、こどもたちを相生山緑地に案内する企画も今後増えてくると思われます。そうしたときに、誤ったことを伝えてしまうことは、何としても避けなければならないと考えてきました。

以上の思いから、地元相生山に生まれ育ち、環境カウンセラーや森林インストラクターとして活動されている、高岡立明さんに依頼して見解をまとめていただきました。これを資料として提出します。

これからも市民と行政が協力・協働して、自然と共に生きる未来の名古屋市民のために、ご検討をよろしく願いいたします。

以上